

令和7年市政主要ニュース

・鳥取県立美術館開館に合わせ周辺施設整備とイベントを実施（3月29日）

鳥取県立美術館オープンを契機に倉吉パークスクエアに賑わいを創出するため、旧リス舍跡地周辺に集いの森とカフェ&ショップを整備しました。また、県立美術館のオープニングイベントとしてNHKの人気番組の公開録画を開催。「NHKびじゅチューンコンサートin鳥取県倉吉市」に全国から2000人以上が来場したほか、Eテレで全国放送されました。

・地域連携で実現！全国初「日本版ライドシェア」本格導入へ（3月30日～、7月2日～）

打吹つながるモビリティ運営協議会が、地域の移動手段の確保に向けた新たな一步として、令和7年3月から「うつぶきループバス」の実証運行を、同年7月から「グリーンスローモビリティ（グリスロ）」による移動サービスの提供を開始しました。特にグリスロは、日ノ丸ハイヤー㈱と地元住民との連携により、全国初となる「日本版ライドシェア（乗合）」を活用した本格運行を実現。地域住民や観光客のニーズに応える、持続可能で柔軟な移動サービスの実現を目指します。

・市内の移住者数が初めて300人を越える（4月1日）

令和6年度の県外からの移住者が過去最多の353人となった。集計を取り始めた平成25年度以降初めて300人を超えた、前年度からの増加数は県内一位となりました。

・HOTEL星取テラスせきがね開館（4月26日）

コロナ禍の影響で長らく閉館していた「グリーンスコーレせきがね」が、「ほしふるまちのやさしい宿」をコンセプトに地域の観光振興の新たな柱となるよう、ユニバーサルデザインを取り入れた施設としてリニューアルオープンしました。

・環境省により脱炭素先行地域に選定（5月9日）

2050年カーボンニュートラルに向けた「実行の脱炭素ドミノ」のモデルとして、倉吉市、琴浦町、北栄町等で共同提案した「営農型太陽光発電の展開等による中山間地域の農地の維持と地域経済の活性化」を目指した事業が環境省により選定されました。この事業により、事業地域内の耕作維持困難農地を活用して農業（どくだみ栽培）と太陽光発電を両立した仕組みを広く展開し、得られた収益を地域の課題解決に活用することを目指しています。

・令和7年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）自転車競技大会開催（7月31日～8月3日）

高校生がスポーツの全国頂点をめざして競うインターハイの自転車競技を倉吉自転車競技場周辺で開催し、選手が熱戦を繰り広げました。ロードレースでは倉吉西高校の吉田奏太（よしだそな）選手がみごと優勝しました。

・倉吉市を舞台にした映画「遙かな町へ」のロケが行われる（8月20日～9月27日）

鳥取市出身の漫画家谷ロジローさん原作「遙かな町へ」が錦織良成監督がメガホンをとり、白壁土蔵群周辺を中心に撮影が行われ、撮影支援やエキストラ出演など、多くの市民が映画に携わり、地域が一体となり映画を盛り上げました。

・倉吉西瓜販売額15億円突破（10月）

JA鳥取中央倉吉西瓜生産部会が中心となり、新規就農者の確保・育成、栽培技術の向上のほか、地方創生2.0交付金を活用し実施した積極的な市内外でのPRなどの取り組みの結果、販売額が30年ぶりに15億円を突破しました。

・倉吉市空き家活用しごと創造センター「くらしごとBASE」開設（12月1日）

空き家・空き店舗活用の支援と、県外IT企業進出の受け皿となるサテライトオフィス機能を併設した複合施設、くらしごとBASE（倉吉市空き家活用しごと創造センター）が完成。サテライトオフィスには県外2社が入居されました。

・倉吉市議会YouTube生配信開始（12月1日）

より多くの市民のみなさまに市政への関心を持っていただくため、令和7年12月定例会から、本会議と予算決算常任委員会のYouTubeでの生配信と録画配信を開始しました。NCNによる本会議の生放送と録画放送も継続しています。